

社会科学習指導案

活動場所 1年3組教室

生徒数 1年3組 男子 20名 計 38名
女子 18名

指導者 教諭 坂元一善

1 単元名 「武士の台頭と鎌倉幕府」

2 単元について

この単元では、中世における武家政権の成立とその後の政治、社会、文化の動きを学習する。12世紀から15世紀、わが国では政治や社会、文化などの面で大きな変化が見られた。地方の豪族が自分の土地を守るために武装したり、朝廷や貴族の身辺警護を行う武官が成長することで、武士が出現した。彼らは組織的にまとまり、武士団を形成するようになる。やがて、武士による朝廷への反乱も起こるようになり、朝廷はこの反乱をおさえるためにやはり、武士の力を必要とした。このようにして武士の力が、認められるようになった。

武士団の中で、特に力を持ったのが、源氏と平氏である。平氏を倒した源氏は、東国を中心に本格的な武家政権を打ち立てた。全国に守護、地頭を置きその支配を強めていく。鎌倉幕府の成立である。その後、朝廷が政権の回復をねらって挙兵するという承久の乱が起こったが、幕府は朝廷を破り、京都に朝廷を監視するための六波羅探題を設置するなどして、その支配をますます強めていった。

鎌倉幕府のもとでは社会が安定し、農業に牛馬や鉄製の農具、草木灰などが使われることにより、農業が発達し、二毛作なども行われるようになった。また、工業の発達により、定期市なども開かれるようになった。

武士や民衆の成長とともに、文化の面での新しい動きが起こり、新しい仏教の宗派や彫刻作品、文学、建築様式が現れた。このような歴史の流れを武士の力が増していく様子を中心に理解させたい。

生徒の状況であるが、中学校生活にも慣れ、社会科の学習にも意欲的に取り組んでいる。そこで小学6年生で日本の歴史を学習しているということを踏まえて次のようなアンケートを取り事前分析を行った。

〈平成19年9月25日実施 1年3組 38名〉

1	源頼朝という人を知っていますか？	{ はい(29名) いいえ(9名) }
2	平清盛という人を知っていますか？	{ はい(25名) いいえ(13名) }
3	源頼朝は何を行った人か知っていますか？	{ はい(15名) いいえ(23名) }
4	平清盛は何を行った人か知っていますか？	{ はい(9名) いいえ(29名) }

事前分析によって、源頼朝や平清盛といった人物については小学6年生で学習しており、歴史上の人物として身に付いているが、どのような人物で、どんなことを行い、誰とどのような関係にあるかということを経験の流れとともにとらえることができていないことが分かった。

この結果を考慮し、指導に当たっては、歴史の流れを捉えさせながら、武士が成長していく過程を追跡していく学習活動を展開させていきたい。したがってこの単元では、本校社会科の研究内容の中でも特に課題発見・課題追究能力を培う学習指導の工夫を取り入れていきたいと考えている。単元を貫く大テーマを設定し、その大テーマに迫るための小テーマを教師の方で設定する。生徒は、グループをつくっておき、そのグループの中で、どの小テーマについて追跡していくかを分担する。さらに、同じ小テーマを追跡する生徒同士が集まってグループをつくり、話し合いながら追跡活動をしていく。追跡活動が終わったら、再び最初のグループに戻り、そのグループ内で調べた結果を発表するという学習方法である。また、課題を追跡する能力を培うには、その基盤として、基礎的・基本的な内容が必要となるが、その定着のために各時間の最後にステップアップテストを実施する。

3 単元の学習目標

- (1) 武士の起こりから武家政権の成立と武家社会の発展、諸産業の発達に対する関心を高め、意欲的に学習できる。(関心・意欲・態度)
- (2) 武士の起こりから武家政権の成立と武家社会の発展、諸産業の発達とのかかわりから課題を見だし、歴史の流れと時代の特色を多面的・多角的に考察できる。(思考・判断)
- (3) 武家政治の成立と社会の変化、文化の広がりに関する図版、史料、年表、歴史地図などの様々な史料を活用するとともに、追跡した結果をまとめたり、説明したりできる。
(技能・表現)
- (4) 武家政権が誕生して、武士の支配が次第に全国に広まり、武家社会が発展していったこの時代の歴史の流れを理解できる。(知識・理解)

4 単元の評価規準

学習活動における 具体的な評価規準	想定されている生徒の学習状況と手立て	
	A	C
ア 社会的事象への関心・意欲・態度		
① 武士が起こり、成長し、やがて鎌倉幕府を成立させる様子などを通して武士の支配が広まっていったことに関心をもつことができる。	A 教師が与えた課題を追跡するだけでなく、武士が台頭しその支配を広めていくことができた要因を追跡するための課題を自ら設定して調べている。	C 活動の意義を説明し、その際に身近にある歴史的な建造物や、小学校で学習した内容などをいくつか提示したり、小学校での学習を振り返らせる時間を設定するなど、小学校での学習を想起させる。

<p>② 鎌倉時代の新しい仏教と文化に対する関心を高め、今日の文化とのつながりを意欲的に学習している。</p>	<p>A 鎌倉時代の新しい仏教や文化の特色について興味を持ち、作品について具体的に調べている。</p> <p>C 生徒が感じた疑問点について具体的に調べる方法を説明する。</p>
<p>イ 社会的な思考・判断</p>	
<p>① 武家政権が誕生して、武士の支配がしだいに全国に広まり武家社会が発展していった理由を考察することができる。</p>	<p>A 武士の支配が広まったことについて感想・疑問を述べており、その感想・疑問を受けて、武家政権が成立した要因を追究できる課題を設定している。</p> <p>C なぜ武士の支配が広まったのかという視点で、歴史の流れをペアで説明し合う時間を設ける。</p>
<p>② 鎌倉仏教が中世を通して多くの人々の心をとらえて広まっていった理由を、教えの特色や社会の動きと関連づけて考えることができる。</p>	<p>A 鎌倉仏教の特色と、当時の時代背景、人々の生活の様子を関連させて考察することができる。</p> <p>C 鎌倉仏教のそれぞれの宗派のどのような点が、当時の人々に受け入れられたのか、当時時代背景を説明しながら考えさせる。</p>
<p>ウ 資料活用の技能・表現</p>	
<p>① 史料「御成敗式目」や「地頭をうったえた農民たち」から武家社会の特色や幕府政治の変化を説明できるなど、文章史料を活用できる。</p>	<p>A 武家社会の特色や幕府政治の変化を説明するために、必要な資料を教科書や資料集、教師が与えた資料から引用するにとどまらず、自ら書籍やインターネット資料を活用することができる。</p> <p>C 教師との話し合いを通じて、資料を読んでいく視点をもたせる。</p>
<p>② 図版「平家物語」や「東大寺南大門金剛力士像」から武士や民衆の活力を背景にして生み出された新しい文化の特色をあげることができるなど、図版を活用することができる。</p>	<p>A 文化的作品の特色に気づき、まとめることで、武家社会の発展や民衆の成長というこの時代の大きな変化をとらえることができる。</p> <p>C 文化的作品を教師の方でいくつか選び、その作品について気付いたことをもとに、文化の特色を、生徒とともに導き出す。</p>
<p>エ 社会的事象についての知識・理解</p>	
<p>① 武家政権が誕生して、武士の支配がしだいに全国に広まり武家社会が発展していったという大きな時代の流れを説明することができる。</p>	<p>A 武士の起こりから武士の成長、鎌倉幕府の成立の歴史的事象について説明しながら武士の支配が全国に広まっていった様子を語るすることができる。</p> <p>C なぜ武士の支配が広まったのかという視点で、歴史の流れをペアで説明し合う時間を設ける。</p>
<p>② 鎌倉時代の新しい仏教と文化の特色を理解し、その知識を身に付けている。</p>	<p>A 鎌倉時代の新しい仏教と文化の特色を、その宗派や作品をあげながら具体的に説明することができる。</p> <p>C 仏教の各宗派や文学作品などの名前と、その特徴をノートにまとめさせる。</p>

5 単元の学習及び評価計画

時間	おもな学習内容	学習の流れ	評価項目	評価方法
1 (本時)	1 武士の成長	<ul style="list-style-type: none"> ○ 武士がどのようにして起こったかを考える。 ○ 武士が成長していく様子を理解させる。 ○ ステップアップテスト 	アー①	観察・発表 ステップアップテスト
2	2 武家政権の成立	<ul style="list-style-type: none"> ○ 鎌倉幕府が地方支配のためにどのような政策や制度をとったのかを理解する。 ○ 承久の乱後幕府の力はどのように変化したのかを調べる。 ○ ステップアップテスト 	イー① エー①	ステップアップテスト 助け合い学習
3	3 武士と民衆の動き	<ul style="list-style-type: none"> ○ 武士の生活について調べる。 ○ 御成敗式目の内容を確認する。 ○ ステップアップテスト 	ウー①	観察・発表 ステップアップテスト
4	4 鎌倉時代の宗教と文化	<ul style="list-style-type: none"> ○ 鎌倉仏教の各宗派の内容を把握し、人々の心をとらえて広まった理由を考える。 ○ 平家物語が多くの人に親しまれた理由を考える。 ○ ステップアップテスト 	イー② エー②	観察・発表 ステップアップテスト
10	単元復習テスト	<ul style="list-style-type: none"> ○ ステップアップテストの復習 ○ 訂正箇所の確認 	アー① エー①	観察・発表

6 本時の実際（1／10）

（1） 題材名

「武士の成長」

（2） 学習目標

ア 平安時代の中ごろに登場した武士がしだいに勢力を広げたことを、地方や都で起きた戦乱の様子などから理解する。（知識・理解）

イ 武士の成長について、荘園と公領からなる新しい土地制度との関連から考える。

（思考・判断）

（3） 授業設計の視点

ア 課題追究能力を培う学習指導の工夫

（研究との関連→小テーマを提示する）

課題追究の工夫として、課題を追究するためのテーマを教師がいくつか設定し、6人ほどのグループをつくり、そのグループの中でそれぞれが、自分の調べたいテーマを選ぶ。グループをいったん解いて、今度は同じテーマを追究する生徒同士が集

まり、テーマ別のグループをつくり、追究活動を行う。追究活動が終わったら、再び最初のグループをつくり、調べた結果を発表し合うという学習活動である。これにより、一部の生徒任せにならず、一人一人が責任を持ってグループ活動に取り組むことができると考える。

イ 意欲的に取り組ながら、基礎・基本を定着させる工夫

(研究との関連→ステップアップテストの実施)

基礎的・基本的な学習内容を定着させるために、各時間の最後にステップアップテストを実施している。1枚の用紙にステップ1～3までのテストをまとめて作成する。ステップ1が「小学校で定着させておくべき内容」ステップ2が「中学校で定着させておくべき内容」、ステップ3が「高等学校で学習する内容を見据えた発展的な内容」となる。毎時間回収し、毎回確認をおこなっている。自分の理解に合わせることで、意欲的に基礎的・基本的な学習内容を定着させることができると考える。

(4) 授業の展開

過程	時間	学習活動	指導上の留意点と評価 (◆は評価項目)
導入	8分	1 平安時代末期から鎌倉時代にかけて思いつく人物や出来事をあげる。 2 大テーマの把握。 3 大テーマについて予想する。 4 学習の流れを提示する。 《 学習の流れ 》 1 テーマの把握 (何を追究するのか) 2 予想 (自分の考えを持とう) 3 課題の焦点化 (何が分かればいいのか) 4 追究活動 (ともに追究しよう) 5 相互交流 (自分の考えを深め合おう) 6 予想の修正 (最初の考えを修正しよう) 7 最終判断 (自分の考えをまとめよう)	1 小学校で学習した内容を振り返りながら考えさせる。 4 大テーマを解決するためにどのような流れで、学習を進めていくのかを提示する。 ◆ 源氏や平氏の出現によって、世の中がどのように変わったのだろうか。
		5 課題の焦点化 小テーマを提示する。	5 小テーマの追究活動の中で、次の事項を把握させるようにする。

展開	27分	<p>① 武士はどのようにしておこったのだろう。</p> <p>② 争いや戦いの中で武士はどんな役割を果たしのだろう。</p> <p>③ 天皇とのかかわりはどのようなものだったのだろう。</p> <p>④ 武士にとって土地はどのようなものだったのだろう。</p> <p>⑤ 源氏はどのような人たちだったのだろう。</p> <p>⑥ 平氏はどのような人たちだったのだろう。</p> <p>6 グループで追究活動を行う。 ・ 6人グループをつくり、そのグループの中で、追究する小テーマを分担する。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>・ グループを解き、同じ小テーマを追究する生徒同士が集まり、小テーマグループをつくり、追究活動を行う。</p> <p>7 相互交流 ・ 各小テーマグループの代表者が調べたことを発表する。</p> <p>8 予想の修正をする。</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 源氏や平氏の出現によって、世の中がどのように変わったのだろう。 </div> <p>9 最終判断 ・ 自分の考えをまとめる。</p>	<p>① 地方豪族や貴族の警護に当たった人々が、武士へと変化していく様子を把握させる。</p> <p>② 争いや戦いの中で武士が果たした役割や影響を把握させる。</p> <p>③ 上皇が行った院政について把握させる。</p> <p>④ 荘園が武士の成長を支える大きな要因になったことを把握させる。</p> <p>⑤ 清和天皇の子孫とされ、東国に勢力をのばしていたことを把握させる。</p> <p>⑥ 桓武天皇の子孫とされ西国に勢力をのばしていたことを把握させる。</p> <p style="text-align: center;">視点ア</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> ・ グループをつくり、その中で追究する小テーマを分担する。自分の追究する小テーマが決まったら、それが同じ生徒同士が集まってグループをつくり、話し合いながら追究活動をしていく。 </div> <p>◆ 武士が台頭し、武士の支配が広まっていったことに興味・関心をもつことができたか。</p> <p>6 ワークシート準備し、追究活動の中で基礎的な知識をおさえられるようにする。</p> <p>7 各小テーマグループが発表したことを、各自でワークシートにまとめさせる。</p> <p>8 各自でまとめたワークシートの結果を見ながら、はじめに予想した大テーマの答えを修正させる。</p> <p>9 最初の予想と比較して、自分の考えがどのように変化したのかを確認させる。</p>
終末	15分	<p>10 ステップアップテストの実施</p> <p>11 本時の学習を振り返り、自己評価する。</p>	<p style="text-align: center;">視点イ</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> ・ 習熟度にあわせて生徒がチャレンジしようと思うステップまで進ませる。 </div> <p>◆ 基礎的・基本的な内容が定着しているか。</p> <p>◆ 評価カードに記入させ、本時の目標が達成できたかを確認させる。</p>